

第2回シンポジウム

「地域共生社会への道すじ」



誰もが心地よく、安心して暮らせる社会を。

様々な人々が暮らす現代社会。誰もがお互いを尊重し、支え合い、心地よく暮らせる社会はどうしたら実現できるのでしょうか。成蹊大学では、武蔵野市のご協力のもと、「地域共生社会」をテーマとした学融合研究プロジェクトを立ち上げました。今回のシンポジウムでは、武蔵野市長をはじめ、各分野の専門家をお招きし、様々な視点から「地域共生社会」の実現に向けた道すじを照らししていきます。よりよい未来の地域社会のために、みなさんも一緒に考えてみませんか。

開催日時：

2018. 10/14 日

時間：13:30～(開場12:30) 16:05 終了予定

会場：大学6号館5階501教室

入場無料 予約不要 定員：300名

■お問い合わせ先：

成蹊大学 研究助成課 TEL.0422-37-3705

E-mail rbp-event@jc.seikei.ac.jp

プログラム

- ご挨拶 成蹊大学 学長 北川 浩
- 第一部 講演**
- 「武蔵野市における地域共生社会づくり—これまでとこれから—」
松下 玲子 氏 (武蔵野市長)
- 「MyData(本人主導のパーソナルデータ活用)とパーソナルAIによる
個人とコミュニティのエンパワメント」
橋田 浩一 氏 (東京大学教授)
- 「子ども食堂の可能性—食でつながる地域の絆—」
栗林 知絵子 氏 (特定非営利活動法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク理事長)
- 第二部 パネルディスカッション**
- テーマ「地域共生社会への道すじ」
- パネリスト 松下 玲子 氏、橋田 浩一 氏、栗林 知絵子 氏
司会 渡邊 大輔 (成蹊大学文学部准教授)

● 講演者プロフィール ●



松下 玲子
武蔵野市長

1970年 愛知県名古屋生まれ。実践女子大学文学部卒業後、サッポロビール入社。2004年 早稲田大学大学院経済学研究科修了。2005年、2009年武蔵野選挙区で都議会議員選挙に当選(2期8年)。2017年10月9日より現職。趣味は、落語・演劇・映画・美術鑑賞。座右の銘は「人事を尽くして天命を待つ」。



橋田 浩一
東京大学大学院
情報理工学系
研究科教授

電子技術総合研究所、(財)新世代コンピュータ技術開発機構、産業技術総合研究所を経て、2013年7月より現職。自然言語処理、認知科学、人工知能等の研究に従事。分散 PDS の一種である PLR(個人生活録)およびそれに基づく B2C・C2C サービスのイノベーションが最近の主な研究テーマ。



栗林 知絵子
特定非営利活動法人
豊島子ども
WAKUWAKU
ネットワーク理事長

2004年より池袋本町プレーパークの運営に携わり地域活動を始める。自他共に認める「おせっかいおばさん」である。地域の子どもの地域で見守り育てるために、プレーパーク、無料学習支援、子ども食堂など、子どもの居場所を点在化して、子どもと家庭を伴走的に支援している。

成蹊大学研究ブランディング事業について



成蹊大学では、吉祥寺のワンキャンパスに文系・理系学部があるという利点を活かし、「地域共生社会」を実現するための学融合研究プロジェクトを立ち上げ、文部科学省の私立大学研究ブランディング事業に選定されています。このプロジェクトは学部を横断した取り組みであり、「地域共生社会」の実現に向けて、大学での研究を地域社会に役立てることを目指しています。理工学部、文学部、法学部が協力し、福祉分野、とりわけ親子支援、高齢者支援、障害者支援の三つのテーマについて、学問分野を超えたコラボレーションを推進しています。

詳しくは、特設サイトをご覧ください。

https://www.seikei.ac.jp/university/branding_kyousei/



■ アクセス

- JR 中央線・総武線(東京メトロ東西線)・京王井の頭線 吉祥寺駅下車
 - 吉祥寺駅北口バスのりば 1、2 番より関東バスで約 5 分/成蹊学園前下車
 - 吉祥寺駅より徒歩 約 15 分
- 西武新宿線 西武柳沢駅下車
 - 西武柳沢駅南口より関東バス(吉祥寺駅行)で約 15 分/成蹊学園前下車